

令和4年度 共同募金運動にご協力いただきありがとうございました

「みんな」が主役の地域を良くする運動です

「赤い羽根共同募金」は、1947年(昭和22年)に始まって以来、地域の福祉活動に役立ってきた社会福祉法に基づく募金です。

「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国で年間約4万6,000件にのぼる各地の住民ボランティアや地域福祉活動(高齢者、障がい者、子ども、災害時支援など)を応援しています。

赤い羽根は皆さまの身近な“困りごと”に使われます

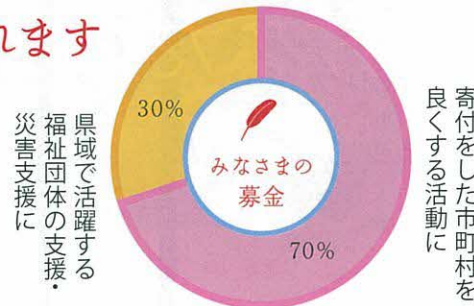
千葉県内でお預かりした募金のうち70%が皆様の身近な地域(市・区・町・村内)で福祉課題の解決のため活用されています。残りの30%は県内の社会福祉施設の整備や福祉団体等の活動支援として活用されるほか、災害支援にも役立てられています。(運動経費を除く)

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、職を失い困窮している人や地域での孤立を防ぐ活動への支援も数多く行っています。

十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、寄付金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の民間福祉のニーズを受け付けて、使いみちを決めてから募金を行う「計画募金」です。

その為、支援が必要なところに助成支援が行き渡るよう、募金を募るために募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。



今年度の募金目標額	
合計	630,000,000円
赤い羽根募金	390,000,000円
市町村歳末たすけあい募金	210,000,000円
NHK歳末たすけあい募金	30,000,000円

寄付者のみなさまへ ありがとうメッセージ

お寄せいただいたご浄財が、たくさんの「ありがとう」に変わりました。



アドバイザーが中心となり、身体に障がいのある方たちへの就労相談や自立支援を行っています。【千葉市】



お子さんがいる家庭をボランティアが訪問して交流し、「地域での子育て」を行っています。【御宿町】



高齢者や障がいなどのために、公共交通機関での移動が困難な方の外出をサポートしています。【東金市】



地域の小学生と高齢者が竹馬やおはじきなどの「昔遊び」を通じて交流しました。【長南町】

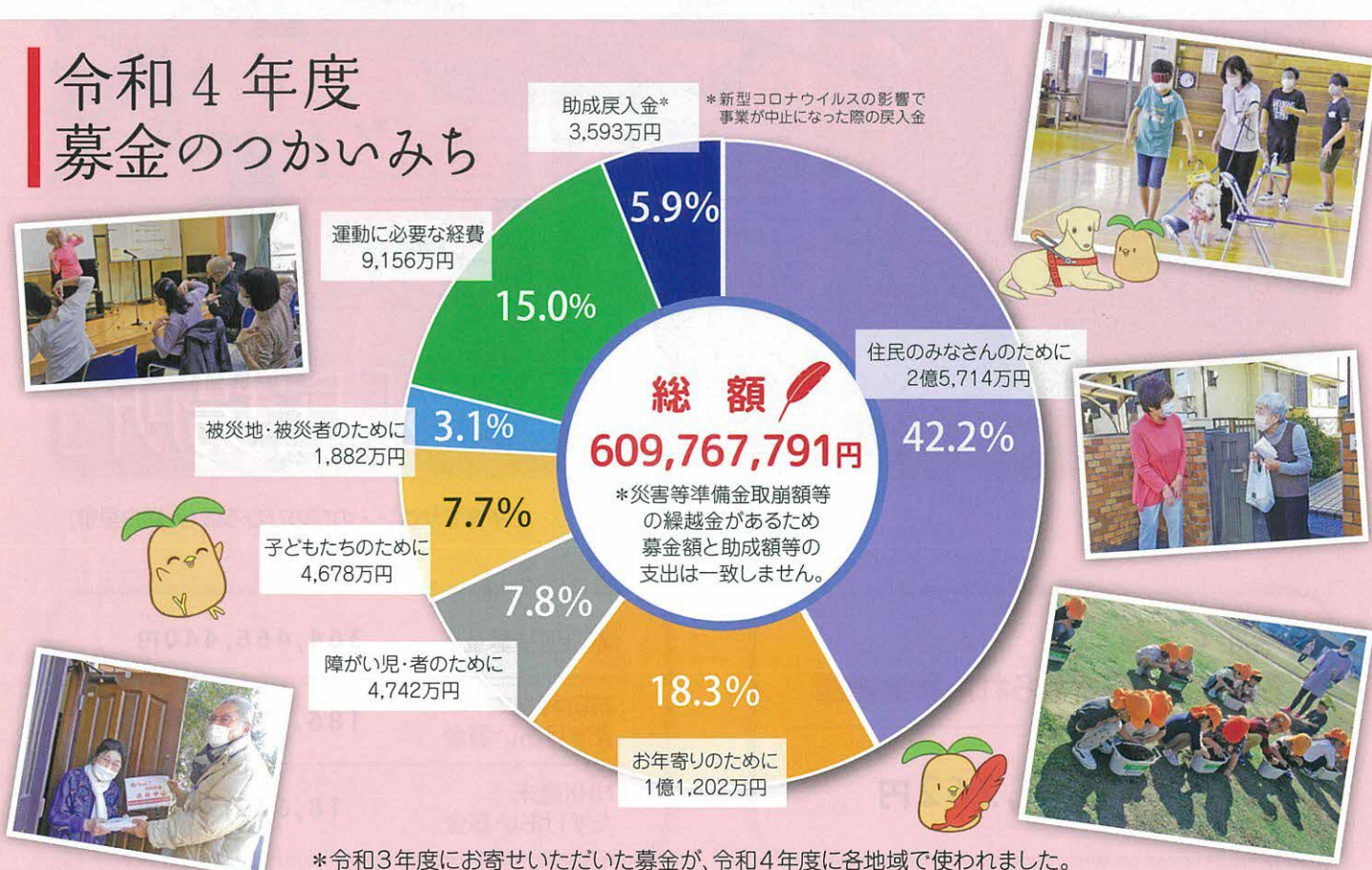


放課後児童クラブに通う子供たちにお弁当をお届けする「楽々kidsランチ」を開催しました。【睦沢町】



ウクライナから避難してきた方々が集う場を開催し、日本の生活を支援しています。【千葉市】

令和4年度募金のつかいみち



千葉県では毎年2,500件以上の助成を行っています。これからも、みなさんの募金がたくさんの困っている人たちの「ありがとう」に変わるよう活動していきます。



社会福祉法人 千葉県共同募金会
会長 小島 信夫

「日常」を取り戻す動きが広がる一方で、地域や人々のつながりは希薄化し、多くの福祉課題を生んでおります。皆様のあたたかい善意を一人でも多くの困っている方々にお届けできるよう、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様からお預かりしました募金は、皆様のまちの福祉活動や、福祉団体・施設の整備費など幅広く活用させていただきます。新型コロナウイルス感染症の影響による地域の孤立を防ぐ活動などの支援にも役立てられました。

「日常」を取り戻す動きが広がる一方で、地域や人々のつながりは希薄化し、多くの福祉課題を生んでおります。皆様のあたたかい善意を一人でも多くの困っている方々にお届けできるよう、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様からお預かりしました募金は、皆様のまちの福祉活動や、福祉団体・施設の整備費など幅広く活用させていただきます。新型コロナウイルス感染症の影響による地域の孤立を防ぐ活動などの支援にも役立てられました。

5億5千万円余のご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

令和4年度の共同募金運動は、新型コロナウイルス感染症対策が「新しい生活様式」となり日常を少しずつ取り戻す動きが広がる中での運動となりました。まだまだ影響が残る厳しい状況下にも関わらず、皆様からお預かりしました募金は、皆様のまちの福祉活動や、福祉団体・施設の整備費など幅広く活用させていただきます。新型コロナウイルス感染症の影響による地域の孤立を防ぐ活動などの支援にも役立てられました。

ご協力ありがとうございました